



がん化学療法における制吐療法の有効性と安全性に関する検討

2020年4月1日から2025年3月31日までに、日本医科大学付属病院にて入院または外来通院し、がん化学療法に対して制吐療法を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「がん化学療法における制吐療法の有効性と安全性に関する検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2020年4月1日より2025年3月31日までに日本医科大学付属病院にて、入院又は外来通院でがん化学療法を受けられた患者さんの制吐療法（アロカリス®注、パロノセトロン注、デキサメタゾン注等）を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：がん化学療法における制吐療法の有効性と安全性に関する検討

研究期間：研究実施許可日～2027年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 薬剤部・係長 輪湖 哲也

(2) 研究の意義、目的について

本研究では、がん化学療法に対し制吐療法薬を使用した際の有効性と安全性を評価し、適切な制吐療法を行っていくことで重篤な悪心嘔吐の発症を予防していくことを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2020年4月1日より2025年3月31日までに日本医科大学付属病院にて、がん化学療法に対して制吐療法を受けられた患者さんを対象に、悪心嘔吐の有無、使用した制吐薬について調査し、検討を行います。この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。試料：なし。情報：年齢、性別、現病歴、経過・病状、合併症名、使用薬剤名、各種採血検査結果、CT、MRI、PET-CT検査の結果、薬剤投与による副作用などです。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院薬剤部・係長 輪湖 哲也

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：25781

メールアドレス：t-wako@nms.ac.jp